

S4-4 中枢神経疾患の国際基準：重症頭部外傷又は開頭術後若しくは脊椎・脊髄手術後あるいは脳血管障害後の運動麻痺及び知覚麻痺

合志清隆

Clinical Research Team, The Baromedical Research Foundation, USA

わが国における高気圧酸素 (HBO) 治療は脳神経外科施設でもっとも普及している。脳血管障害の全般を主に脳神経外科医が扱ってきたことと、脳・脊髄領域の救急疾患がHBO治療の「救急的なもの」として保険適応を受けてきた影響が大きい。しかし、その適応疾患の多くは欧米の基準 (UHMS, ECHM) から標準的とはいえない、それによれば脳神経外科で扱う救急疾患では「頭蓋内膿瘍」のみが適応とされている。これに加えて、「神経系腫瘍」、「放射線障害」や「超急性期の無酸素脳症」が加わる。今回のシンポジウムでは、わが国で適応とされている中枢神経疾患も含めて、HBO治療の肯定的ないしや否定的な文献を紹介する。臨床医学の国際的な動きはランダム化比較試験で治療効果とその程度を明確にすることである。さらに、適応疾患を検討するうえで重要なことは、費用対効果を考慮することである。わが国における「救急的なもの」の費用を7日間で算出しても欧米諸国に比べて安価であり、「非救急的なもの」に至っては1/10～1/100になっており、先進諸国では例をみない。治療効果に見合った治療費が支払われなければ (EBM: economic-based medicine), 官僚政策が招いた近年の医療崩壊と同様にHBO治療も崩壊に向かうであろう。わが国の中央省庁官僚は日本国をメチャクチャにしている。

S4-5 高気圧酸素治療のEBM： 重症外傷性挫滅症候群, コンパートメント症候群, 重症外傷性循環障害

三谷昌光

特定医療法人 八木厚生会 八木病院

重症外傷性挫滅症候群, コンパートメント症候群, 重症外傷性循環障害に対するHBOについては, UHMS (Undersea and Hyperbaric Medical Society) や, BHA (British Hyperbaric Association) では Crush Injury, Compartment Syndrome, and other Acute Traumatic Ischemia として, EUBS (European Underwater and Baromedical Society) では Crush injury として, HBOの適応疾患の一つになっている。一方, わが国では急性末梢血管障害の中の, 広汎挫傷又は中等度以上の血管断裂を伴う末梢血管障害として救急的適応疾患となっているが, コンパートメント症候群は見当たらない。

Cochrane Libraryでは, 上記3項目に該当するものはまだ掲載されていない。最強のEvidenceとしては, Bouachour G.の行ったCrush injuryに対するRandomized double-blind placebo-controlled clinical trialの報告がある。術後24時間以内にHBO (2.5ATA, 90分, 1日2回, 6日間) を行ったCrush injury 群の治癒率は94%と高く (Sham群は56%), 再手術を要したのはわずか6% (Sham群は33%) に過ぎなかった。HBO群の優位性が証明された。

上記疾患に対しては, 外科的処置を含めた一般的治療と共に, 可及的速やかにHBOを開始すべきである。